

表彰式：2020(令和2)年1月31日

賞名称	部門等	受賞者		評価のポイント
		企業・団体名	所在地	
知的財産活用大賞		株式会社ミヤゲン	福井県敦賀市	「袋」という商品領域において社員提案制度による積極的な新商品開発を推進し、特許・意匠・商標の知財ミックスによる多面的な知財保護やJIS標準規格取得による標準化戦略を実践している。
知的財産活用支援大賞		株式会社IP Bridge	東京都千代田区	中小企業等に対する知財戦略の構築支援のほか、知財活用の仲介、知財に基づく投資等の幅広い事業を展開することにより、知財を活用した企業価値向上に貢献している。
知的財産活用奨励賞	知的財産情報部門(データ利活用、標準化推進、営業秘密管理等)	PicoCELA株式会社	東京都中央区	世界最高の無線メッシュ技術の実用化を目指し、積極的に特許取得する一方、収集データをもとに人流分析等を行い、より効果的なサービスを提供するなど、データ利活用で大きな評価を得ている。
	ブランド部門	株式会社TBM	東京都中央区	紙やプラスチック製品の代替となる新素材及びその成形加工品に共通の商標を登録し、環境持続性に配慮した開発理念を表すブランドに育てるため、商標の使用手順などブランド管理に努めている。
	デザイン部門	株式会社オビツ製作所	東京都葛飾区	ソフトビニール人形、フィギュア等の分野でデザインを追及し、意匠を権利化するだけでなく、特許・商標・税関の取締も活用し、MADE IN JAPANにこだわる商品を国内外で積極的に展開している。
	知的財産戦略部門	フロンティア・ラボ株式会社	福島県郡山市	ガスクロマトグラフィー装置に関する開発成果を特許及び秘匿化の両面で保護し、また、製造販売を外委託するために営業秘密を適切に管理する等、戦略的に知財を活用して事業を展開している。
知的財産活用支援奨励賞	金融サポート部門	株式会社伊予銀行	愛媛県松山市	知財マッチングセミナーを実施し、知財ビジネス評価書を活用した事業性評価を取り入れるなどして、中小企業への知財を活用した事業支援・融資等に取り組んでいる。
	政策サポート部門	日本パテントデータサービス株式会社	東京都港区	特許情報提供手段の活用事例を利用者間に展開することで知財活用指導を図ると共に、中小企業等に対し積極的に実務に即した知財教育等を行い、戦略的に知財活動を支援している。
	事業サポート部門	株式会社福島民報社	福島県福島市	特許庁・日本弁理士会の知財活用支援事業実施の支援や地元企業の顕彰等の知財活用を促す活動を通じて、企業における知財の重要性を広め、地元企業が知財を活用する基盤作りに貢献している。
特別賞		日本協同企画株式会社	茨城県筑西市	農業労働者の生活改善、地域での雇用促進、農家の後継者育成の促進等、知財を通じて農業が抱える問題の解決に寄与し、全国の地域経済の活性化及び地域振興に貢献している。